

2023. 1. 16 第74号

くにくさだより

編集・発行：安芸区阿戸町418-1 あと会広報事業部
TEL (082) 856-0222
https://www.kunikusa.or.jp/

題字 升味 美佐子様



新年のご挨拶



医療法人社団・
社会福祉法人
あと会グループ

理事長
横山 吉宏

新年あけましておめでとございます。本年も何卒よろしくお願ひいたします。

さて、昨年は長引くウクライナ危機によるエネルギー、原材料等の高騰や米国の政策金

利引き上げによる円安の進行等により、物価が急激に上昇し、当法人の各事業所でも電気代、燃料費、食材等に大きな影響が出ており、今年は何とか安定的な運営が可能な状況になるよう願っております。

また、新型コロナウイルス感染症状況についても、第8波による感染拡大やインフルエンザとの同時流行が懸念されており、まだまだ安心できる状況ではありません。こうした中で、各施設では消毒、換気、三密の回避等基本的な感染予防策に加え、ワクチン接種の推進、定期的なPCR・抗原検査の実施等により、ご利用者に安心して医療・介護サービスを提供できるよう、万全を期していく所存でございます。

年末にかけては明るい兆しもあり、サッカーワールドカップにおいて日本チームの善戦が記憶に新しいところで、今年5月にはG7サミットが広島で開催される予定で、国内はもちろん海外から各国の首脳や報道関係者等が多数来広されることから、今後の広島発展に大きく寄与するものと期待しております。

今年こそ、コロナ禍の終息が訪れることを祈り、職員一同、法人理念に基づいた福祉を推進して参りますので皆様の変わりぬご支援・ご協力の程よろしくお願ひいたします。



医療法人社団・
社会福祉法人
あと会グループ

常務理事
横山 輝代子

新年あけましておめでとございます。本年もどうぞよろしくお願ひいたします。

さて、新型コロナウイルス感染症拡大による様々な影響は、現在も医療・介護分野を始め、社会経済状況にも依然として大きな影を落としております。

あと会におきましても昨年は、感染防止のための多様な対策を講じたにもかかわらず複数の施設で集団感染を経験し、改めて、感染予防だけでなく、感染発生から感染拡大、収束に至る経緯を振り返り、その対応策について分析・検討を行い、その後には生かしていくことが大切であることを実感しました。

また、ご利用者の皆様には、面会、各種行事の実施等でご不便をおかけしておりますが、皆様をコロナ感染からお守りしながら介護・医療を提供する為、基本的な感染防止対策(マスク・手洗い・消毒・十分な換気等、オミクロン対応ワクチンの接種、PCR検査の実施等)これまで以上に取り組む所存ですのでご理解をいただきたいと存じます。

今年も、卯年です。兎年はこれまでの努力が実を結び飛躍 向上する年と言われています。

皆様と共に今年こそ、安心して満ちた素晴らしい年となりますよう、一層の精進をしておりますので、何卒、「ご指導」ご鞭撻を賜りますようよろしくお願い申し上げます。



でじま・くにくさ

嘱託医

中尾 涼子

新年、あけましておめでとございます。本年も引き続き感染対策を十分に行いながら、皆様安心して生活できますように、健康管理に従事してまいります。本年も、よろしくお願ひ申し上げます。



なかお内科消化器
呼吸器クリニック

院長

中尾 円

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。引き続き新型コロナウイルス感染症が流行しております。マスクや手洗いなどの感染対策に十分に努めていただき、ウイルス感染にはくれぐれもお気を付けてください。当院も皆様に信頼され、安心して受診して頂けるような医療体制を整えてまいります。本年も変わらぬ御指導のほど何卒よろしくお願ひ申し上げます。



あと・クリニック

院長

徳島 雄二

謹んで新春のお慶びを申し上げます。昨年初から、ロシアによるウクライナ侵攻との報が世界中に飛び交い、きょうも仮借無い攻撃に市民は耐え続けていると伝え聞きます。今もなお、ワクチン接種に依らざるを得ない、コロナ感染症と向かい合う年明けとなりましたが、今年こそはと願ひを込めて、地域の方々と共に、弛むことなく二人三脚医療を続けてまいりたいと思ひます。



りは・くにくさ

施設長

築家 大介

新年明けましておめでとございます。この数年の新型コロナウイルス感染症の影響は日本のみならず世界中の人々の社会生活に大きな影響を及ぼし続けました。コロナの影響を最小限に抑えて、新しい一年が皆様の大きな飛躍と向上の一年になることをお祈りします。



ふかわ・くにくさ

施設長

真下 一策

明けましておめでとございます。今年もコロナ相手の戦いが続きます。しかし、昨年までの高齢者を守るための戦いではなく、今年には家族と一緒にコロナに打ち勝つための年になります。内服薬も開発されています。望みを持って前を向いて進みましょう。

有料老人ホーム

御節料理

でじま・くにくさでは、1月1日・2日はお正月ということで、御節を提供させて頂きました。御節と言いつても、ご高齢のご利用者に合わせて、食べやすく、縁起の良いおかずを中心に献立を考案致しました。また、見た目も華やかに感じて頂きたい為、食器にもこだわり、お一人ずつ丁寧に盛り付けをさせて頂きました。



有料老人ホームでは、鳥取県境港産の寒ブリを卸業者から仕入れ、中道料理長指導の下、調理師が1から捌きました。その寒ブリの大きさは14.5kgにもなるブリで、脂ものっており、生臭さも一切ない一級品のブリでした。そちらのブリは1日夕食に刺身で、2日夕食には照り焼きにして提供させて頂きました。

2日間の御節を通して、ご利用者も見ただけで『わあっ!!!』と喜んで下さり、「幸せよ。」と声をかけて下さる方や、食事と一緒にお渡ししたランチョンマットや飾りをお部屋まで持って帰って下さる方もいらっしゃいました。

これからも、ご利用者様に喜んでいただける為に、栄養課一同精進してまいります。
本年もどうぞよろしくお願ひ申し上げます。

(でじま・くにくさ)

管理栄養士 内海 美香

特別養護老人ホーム



でじまのクリスマスマス会



でじま・くにくさ4階特養ユニットでは、12月にクリスマス会を開催いたしました。当日は、サンタクロースの衣装を着た職員が登場し、プレゼントをお渡しさせて頂きました。プレゼントは、

ご利用者様に喜んで頂けるよう一人ひとりに合わせた物をご用意いたしました。また、サンタさんとのじゃんけん大会をした所、皆様大いに盛り上がりおられました。最後に、職員手作りのケーキを皆様に召し上がっていただきました。ご利用者の皆様と楽しいクリスマス会ができ、ユニット職員一同大変嬉しく思いました。

(特別養護老人ホーム)

でじま・くにくさ

介護職員 竹本 純康



デイサービスセンターでじま・くにくさのクリスマス会では、職員やご利用者が一緒にサンタの帽子や被り物をかぶって、クリスマスにちなんだ演奏やクイズ、ゲームを行いました。

歌やハンドベルの演奏をご利用者様に聞いて頂きクリスマスのお囃子を味わって頂いた後は、「箱の中身はなんじやるな？」ゲームでご利用者様にヒントを出して頂き、職員が驚かされる場面があり大変盛り上がりました。また、栄養課特製のクリスマスケーキをお出したところ装飾の細かさに皆様驚かれ、味も美味しいと大変好評でした。

(デイサービスセンター)

でじま・くにくさ

介護職員 甲斐 五月



グループホームお正月

くにくさの家

元日恒例のお屠蘇を飲まれると「こりゃあ本物じゃ〜」と驚かれたり、品数豊富で色とりどりのお正月料理を「こちそうじゃね〜」と皆様おいしそうに召し上がられていました。

また書初めでは最初は「書けんよ〜」とおっしゃられていましたが、いざ書き始めると何度もやり直され、納得いくまで真剣に取り組みられておられました。

それぞれのご利用者が今年のお正月を思い思いに満喫されておられました。

グループホーム くにくさの家
管理者 青木 新二



グループホーム

コロナ以前のお正月は1階2階合同でお重や大皿から好きな物を取って食べていましたが、コロナ禍では各階で一人ひとりの御節弁当を準備し食べていただいています。

食事がすすまない方が豪華な食事に自ら手を付けたり、お屠蘇を口にして驚かれる方もと飲みたいと無言で訴えられる方もいらっしゃいました。

笑顔あふれるのんびりとしたお正月を迎えました。

グループホーム
グループのくにくさ
管理者 益下 幸映



ご当地弁当

名古屋



10月26日(水)昼食に駅弁第6弾として、「名古屋でらうみや〜弁当」をお出ししました。「かきまわし(とりめし)」、「ひつまぶし」や「味噌カツ」、「ついろろ」など、名古屋の名物を詰め込みました。「かきまわし」と「ついろろ」は試作を重ね、味や見た目にこだわりました。ご利用者からも、「珍しい物が出て嬉し〜」、「名古屋に昔、家族で旅行した思い出が懐かしい」など、たくさん嬉しい声をお聞きすることができました。駅弁第7弾も楽しみにしててください。

くにくさ苑
管理栄養士 池田 桃子



令和4年度

資格取得者発表

社会福祉法人

特別養護老人ホーム
くにくさ苑

石原 あかね
介護福祉士

松本 晃弘
介護福祉士

村上 遥
介護福祉士

樋口 喜久寿
介護福祉士

奥迫 友子
介護福祉士

デイサービスセンター
くにくさ

糸谷 奈己
介護福祉士

佐竹 雅子
介護福祉士

老人保健施設
りは・くにくさ

松永 好弘
介護福祉士

グループホーム
くにくさの家

渡邊 将史
社会福祉士

デイサービスセンター
でじま・くにくさ

山田 千代
社会福祉士

医療法人社団

ふかわ・くにくさ
居宅介護支援事業所

原田 敦子
主任介護支援専門員

介護老人保健施設
ふかわ・くにくさ
(通所リハビリ)

青原 由紀子
介護福祉士

高木 香織
介護福祉士

桃山 早苗
介護福祉士

Instagram

Follow Me

Follow Me

Instagram
はじめました！



今年の6月より提供した食事に関する情報をInstagramにて、発信しております。

現在は、安芸区阿戸町にある「デイサービスセンターくにくさ」に通っていらっしゃる方がどのような食事を召し上がっているのか、写真をアップすることで、目で楽しめるものになっております。

写真と共に、メニューについても記載しております。当法人の管理栄養士と調理師と一緒に考えた料理の彩りや栄養バラ



Instagram

#あと会 atokai_eiyo
で検索！

Instagramが整ったメニューになります。

定番の料理や旬の食材を使った料理、ご覧いただいている皆様にとっても、今晚のおかずの一品や献立を考える際に活用できる情報です。

ご覧いただき、くにくさの食事を目で楽しんでいただけますようよろしくお願いたします。少しずつフォローも増えてきているので、気に入っていただけたらぜひフォローしてください。

事務員 萩坂 直己

Instagram

要介護・要支援とは？
どれだけ介護や支援を必要とするのか？
助けをかりる量や時間によって区分されます。



明けましておめでとうございます。本年もどうぞよろしくお願い致します。

新型コロナウイルスが流行し3年経ち行動制限が緩和されコロナと共存する生活が日常になってきたように思います。昨年は久しぶりのお祭りやイベント、旅行やスポーツ観戦に行かれた方も多かったのではないのでしょうか。

あと会では外出行事の代わりに鶏めし、ひつまぶし、味噌カツ、エビフライ、外郎など名古屋名物を詰め込んだお弁当でささやかな旅行気分を味わっていただきました。「まあ珍しいねえ。美味しいね。」「馳走じゃね。綺麗に盛り付けてあるねえ。」と皆さんいつもより話しが弾み賑やかな食事を楽しんでいただきました。

本年も職員全員で感染対策を十分にいたし皆様楽しいひと時を過ごしていただこうと考えております。不便の多い今日ですがこの状況が1日も早く終息し、皆様にとって幸多き年になりますように職員一同心よりお祈り申し上げます。

(は・く・く・ん)

介護職 松永 好弘

